

## ガイドライン作成にあたって

2019年10月28日

福丸 由佳

## 1. ガイドラインの対象

- 妊娠期から子育て期の保護者を中心に地域住民、保護者に対する支援を行う者  
→保育、教育現場など、子どもとかかわる現場の専門家なども読み手となることも想定
- 家庭内も、母親、父親、祖父母、などをはじめ、多様な家族への支援という視点

## 2. ガイドラインに盛り込む内容 および 体罰等を禁止する理由

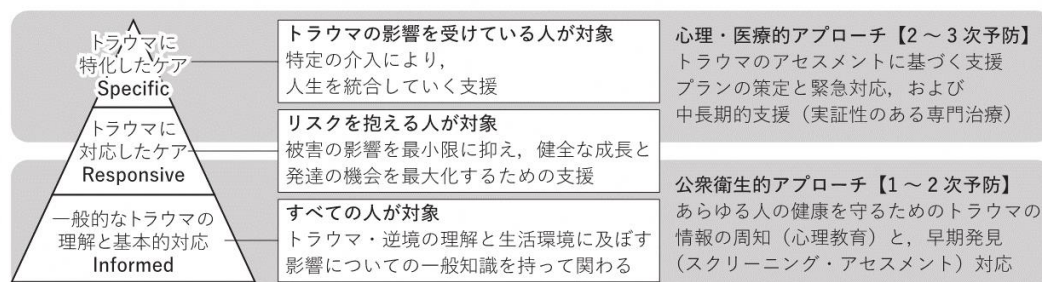
- 体罰をとらえる視点：身体的な苦痛を伴う罰  
大人が子どものためを思った行為かどうか、子どもに怪我や傷があるかどうか  
大人に明確な加害の意図があるかどうか、などにかかわらず、行為そのものが不適切かどうか  
子どもの人権の視点から 子どもが傷つく行為、

## ○体罰等

- ・マルトリートメント：不適切な養育  
子どもに対する不適切かかわりを意味する、虐待よりも広い概念  
→小児期のマルトリートメント（厳格な体罰や暴言など）による脳への影響（友田, 2018）
- ・逆境的小児期体験(ACEs：Adverse Childhood Experiences)  
18歳までのさまざまな虐待被害や家族機能不全が、神経発達不全や社会的・情緒的・認知的障害のリスクを高め、生涯にわたり悪影響を及ぼす（野坂, 2019a）  
薬物乱用、対人間の暴力、自殺未遂などは特に起きやすい（Hughes, et. al., 2017）  
→逆境的小児期体験への対策は、次世代の養育にも大きくかかわってくる
- ・トラウマ（心的外傷）とトラウマインフォームドという視点
- ・大人の行動は子どもにとってのモデルである

## 3. 体罰等によらない子育てのための方策

- しつけ、の前提にある、子どもとの関係性という視点  
共通する視点：子どもの肯定的な姿や態度、行動に、肯定的な注目をする  
体罰等は、その逆 子ども否定的な姿や態度、行動に、否定的な注目をする
- 状況に応じた取り組み リスクや親の特性、子どもの発達などの観点からも  
・ハイリスクという視点（複数にまたがる場合が少なくない）  
たとえば、トラウマケアにおける一次予防、二次予防、三次予防の視点



3段階のトラウマケア（野坂, 2019b）

- ・より特化した介入：エビデンスが示され、研修やSV制度などが整ったものが必要  
たとえば、  
PCIT(親子相互交流療法 Parent Child Interaction Therapy)、TF-CBT(トラウマフォーカスト認知行動療法 Trauma-Focused Cognitive Behavioral Therapy)、ペアレントトレーニング、など
- ・広い層への予防的、啓発的な取り組み：養育スキルの知識や子育てに関するや情報  
たとえば、  
Triple P 前向き子育てプログラム、ペアレントプログラム、ポジティブ・ディシプリン、COS(Circle of Security 安心の輪)、CARE(子どもと大人の絆を深めるプログラム Child-Adult Relationship Enhancement)、など

○さまざまな取り組みの実態と提供可能性の把握

重点をおいた内容、特に焦点をあてている対象、実施回数などの違いや特徴を踏まえて

○発達の時期に対応した取り組み

- ・子どもの発達の時期を意識した取り組み      たとえば、  
妊娠、出産期－医療機関、保健医療、の専門家      (家庭訪問などのアウトリーチも)  
乳幼児期－医療機関、保健医療、地域の機関      (家庭訪問などのアウトリーチも)  
子どもの就園－保育所、幼稚園などの現場      巡回相談  
児童期 学校 SC SSW など

○支援者、支援者の養成と質の向上

- ・質の維持と支援者を支える枠組みの提供
- ・当事者への届きやすさ
- ・初期投資の必要性

引用/参考文献：

- Chaffin, M., Silovsky, J. F., Funderburk, B. et al 2004 Parent-child interaction therapy with physically abusive parents: efficacy for reducing future abuse reports. Journal of consulting and clinical psychology, 72(3), 500
- Huges, K., Bellis, M.A., Hardcastle, K.A., Sethi, D., Butchart, A., Mikton, C., Jones, L., Dunne, M.. 2017 The effect of multiple adverse childhood experiences on health: a systematic review and meta-analysis. [www.thelancet.com/public-health](http://www.thelancet.com/public-health) Vol 2 August
- 野坂祐子 2019a 特別な配慮を要する家庭 白川佳子・福丸由佳 編 子ども家庭支援の心理学 中央法規 152-162.
- 野坂祐子 2019b トラウマインフォームドケア：公衆衛生の観点から安全を高めるアプローチ トラウマティック・ストレス 第17巻,第1号 80-89.
- 友田明美 2018 児童虐待(マルトリートメント)と脳科学 家族心理学年報 36 家族心理学会編 134-144.